

第1回

秘書アンケート 調査結果

2022年8月1日

 Hisholio®

調査概要	3
回答者属性と勤務先について	4
他の秘書との繋がりについて	9
スキルアップ・秘書の仕事が続けたいか	12
上司について	16
秘書としてのやりがい・原動力について	23
上司にこれだけはやめてほしいこと	33
秘書として困っていること・ストレスに感じること	39
上司から褒められて嬉しかったエピソード	50

調査期間

2022年6月14日（火）～6月30日（木）

調査方法

インターネット調査

（Hisholioメールレター、WEBサイトなどを通じた呼びかけ）

有効回答数

162

（うち、専業秘書81、兼業秘書81）

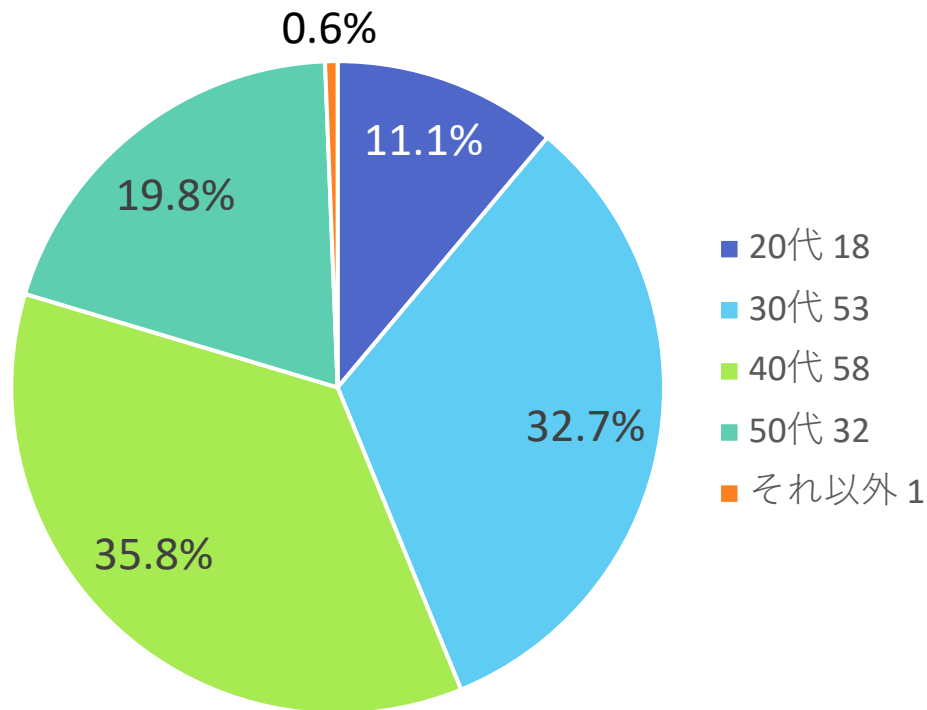
調査団体

Hisholio編集部（青山花壇株式会社）

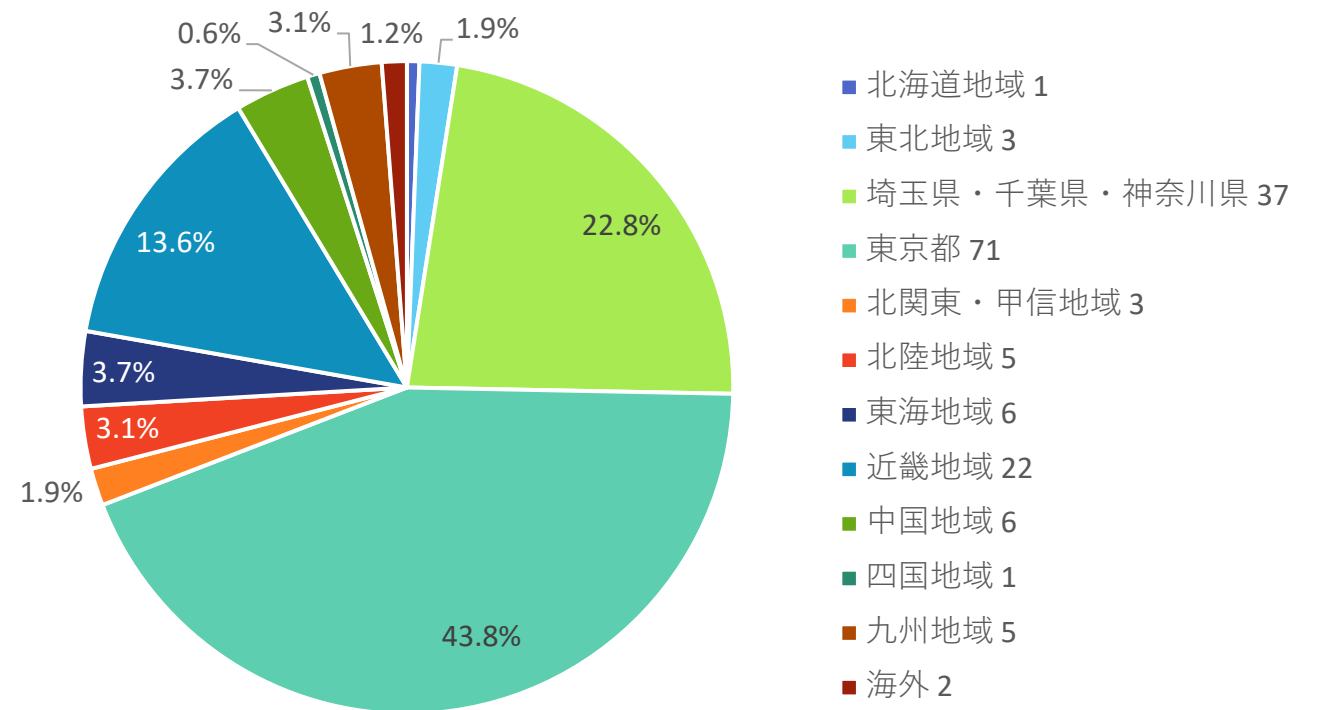
回答者属性と 勤務先について



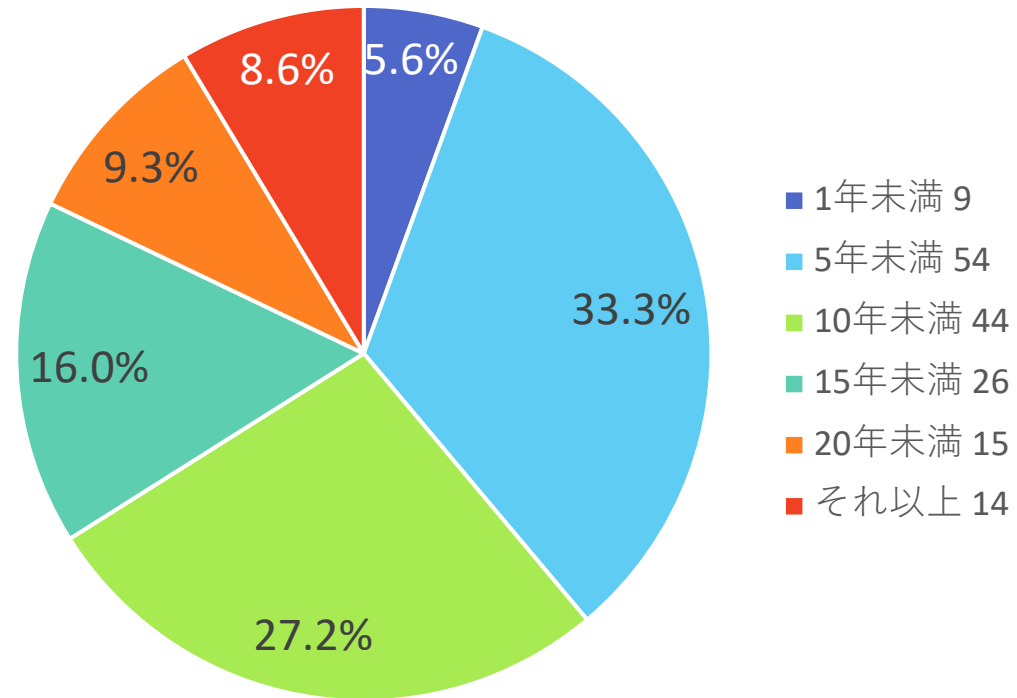
年齢



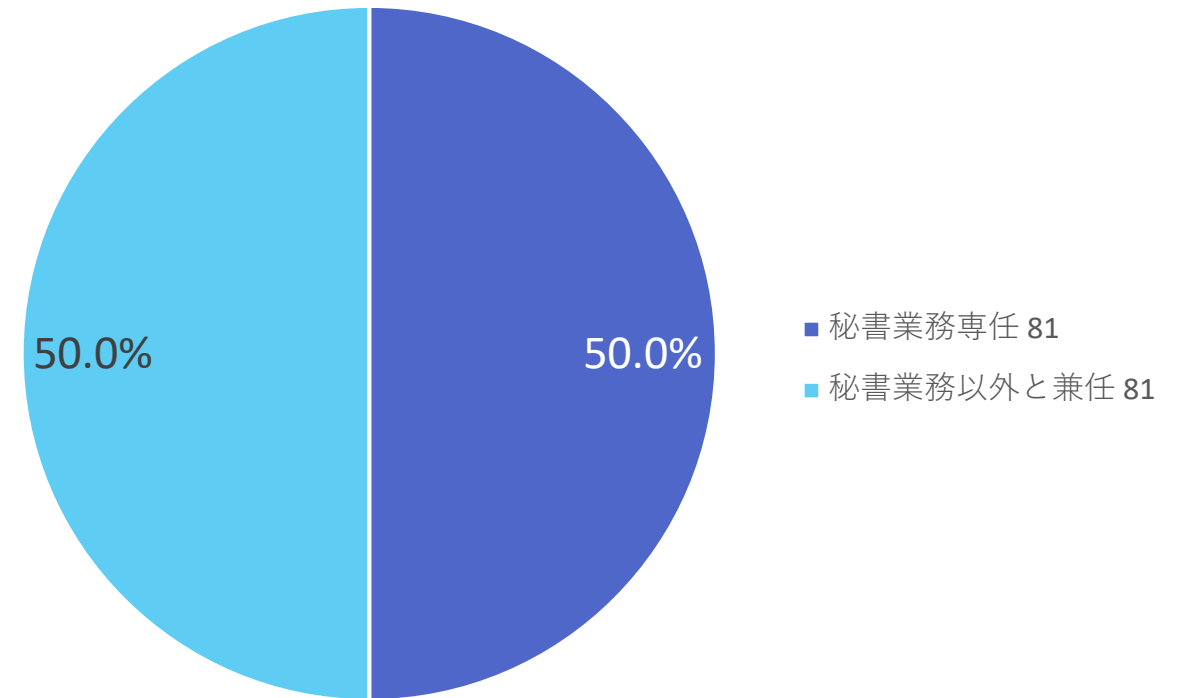
居住地域



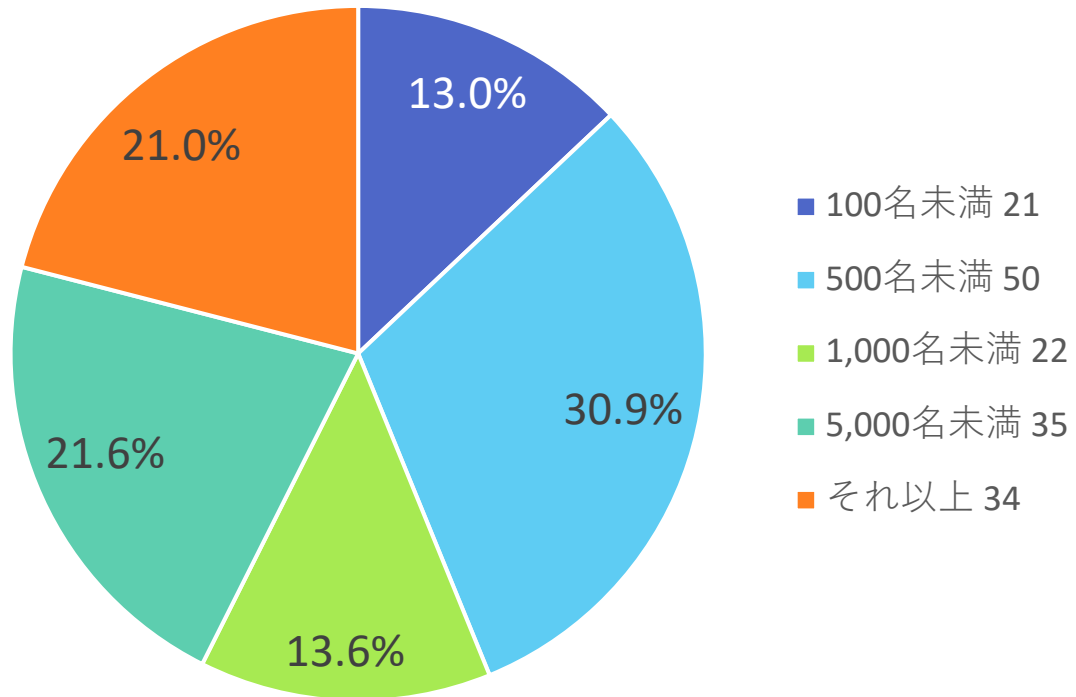
秘書としての経験年数



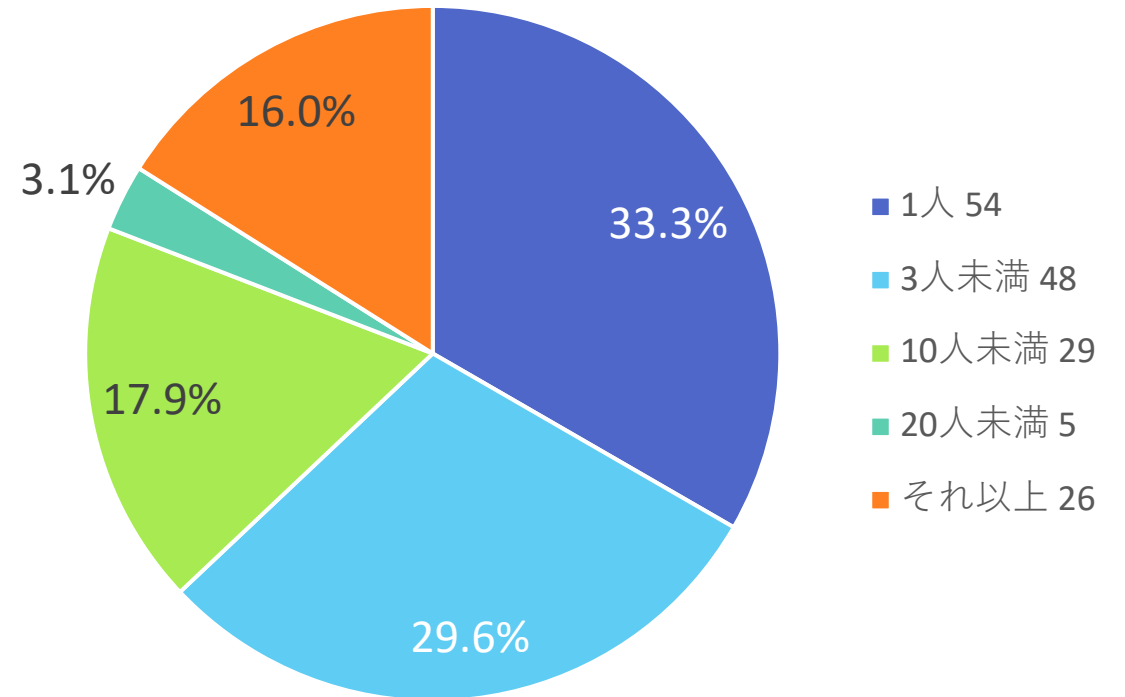
専任秘書かどうか



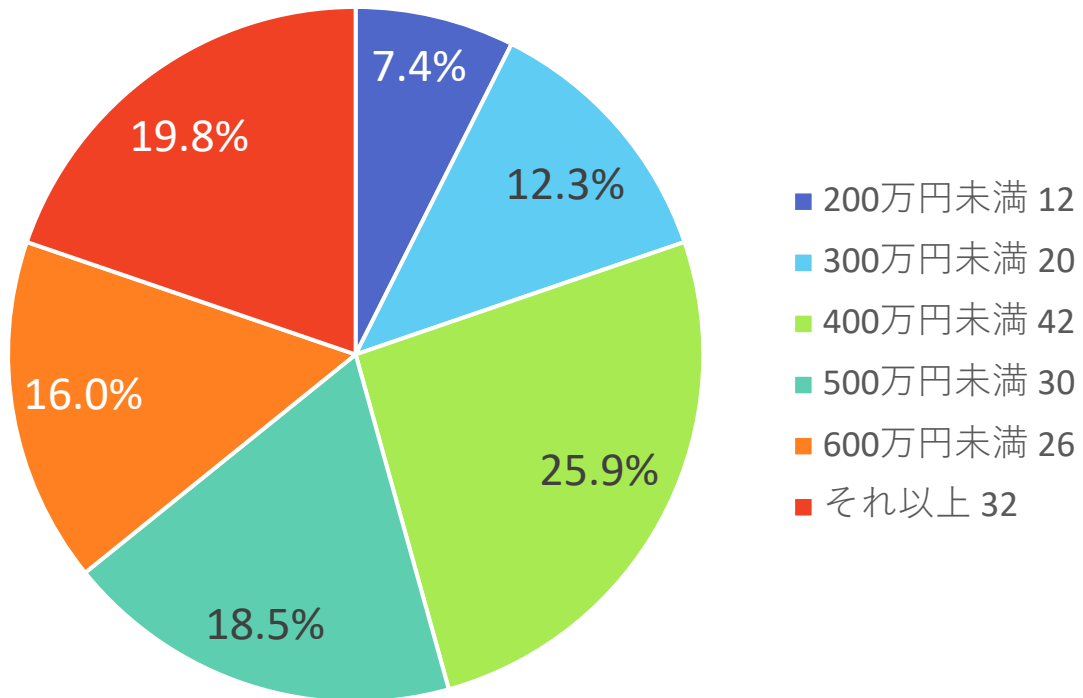
企業規模



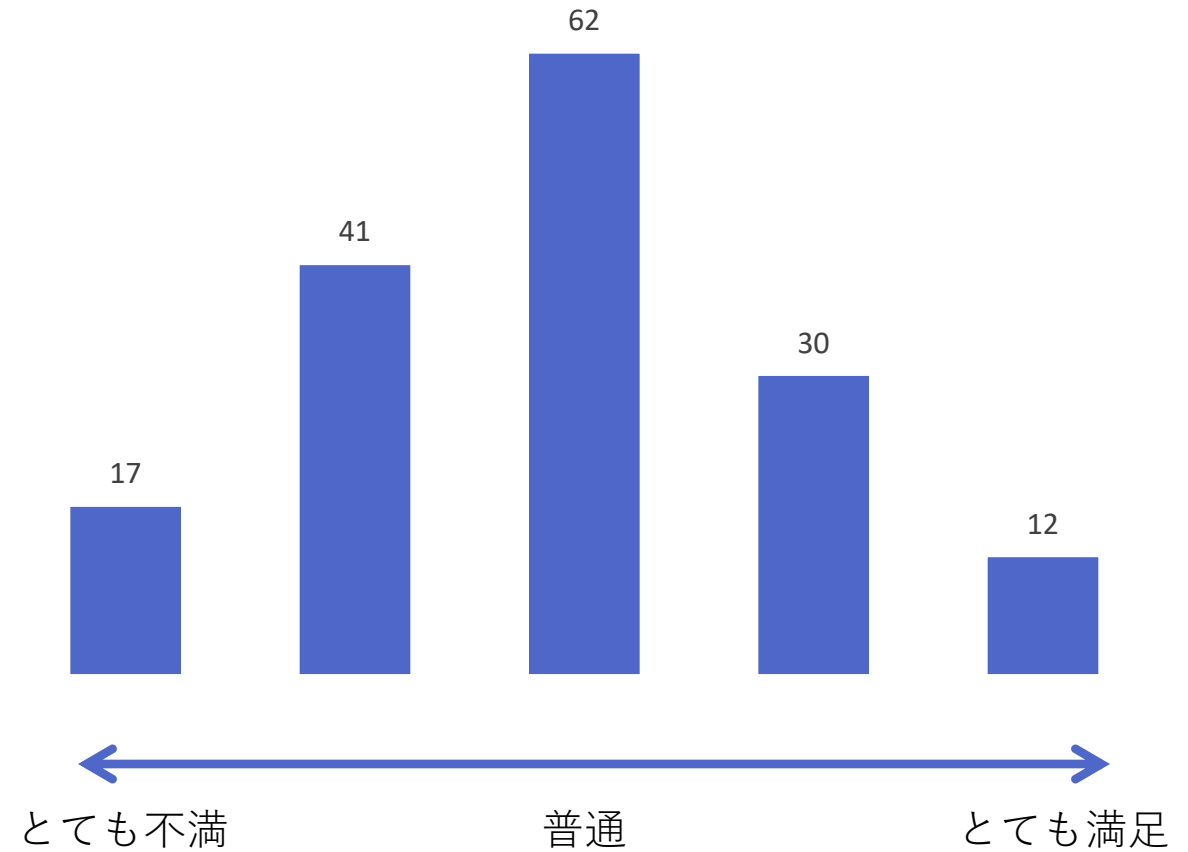
社内の秘書の人数



年収額

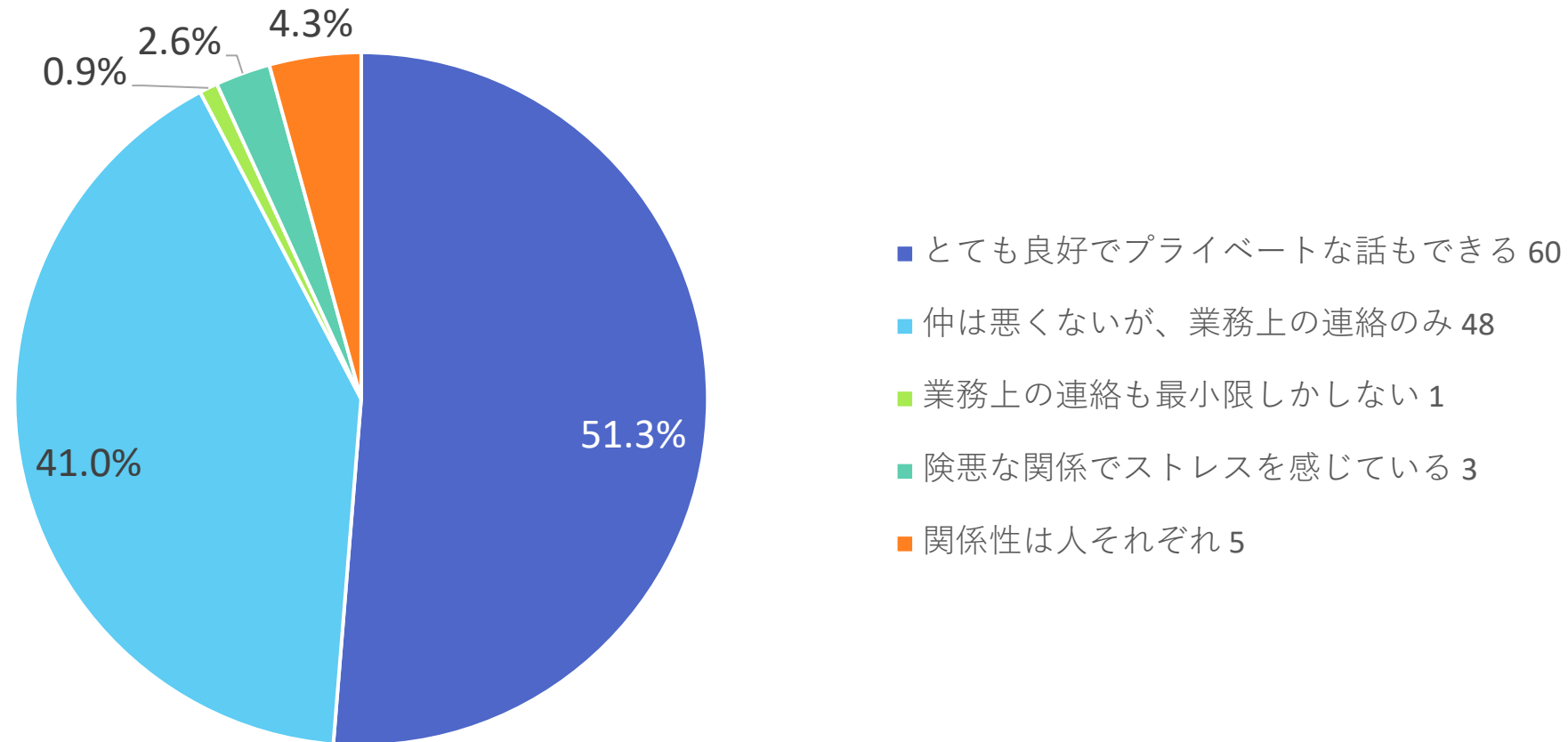


年収額への満足度



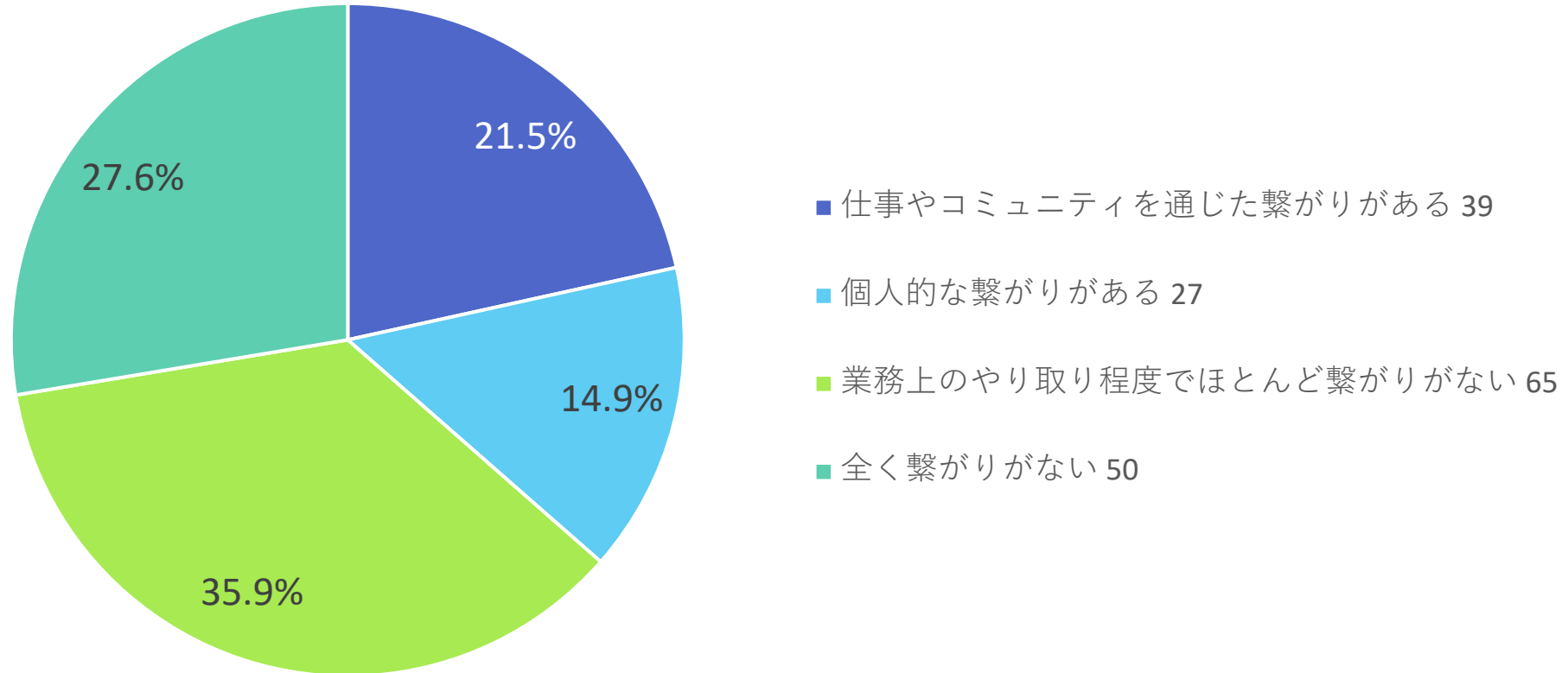
他の秘書との 繋がりについて





9割以上の秘書が「職場での仲は良い・悪くない」と回答。

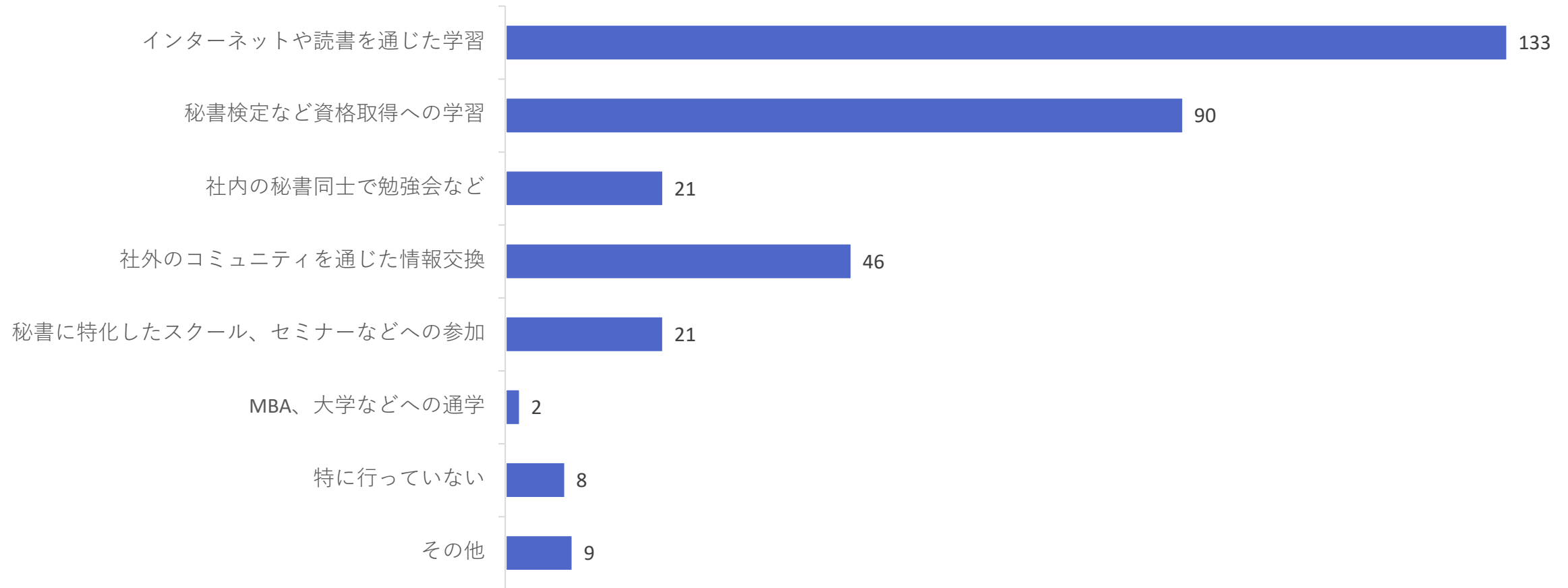
そのうち、プライベートの関わりがあるケースがやや多い結果となった。



6割以上の秘書が「業務上のやりとり以上がない」という結果になった。

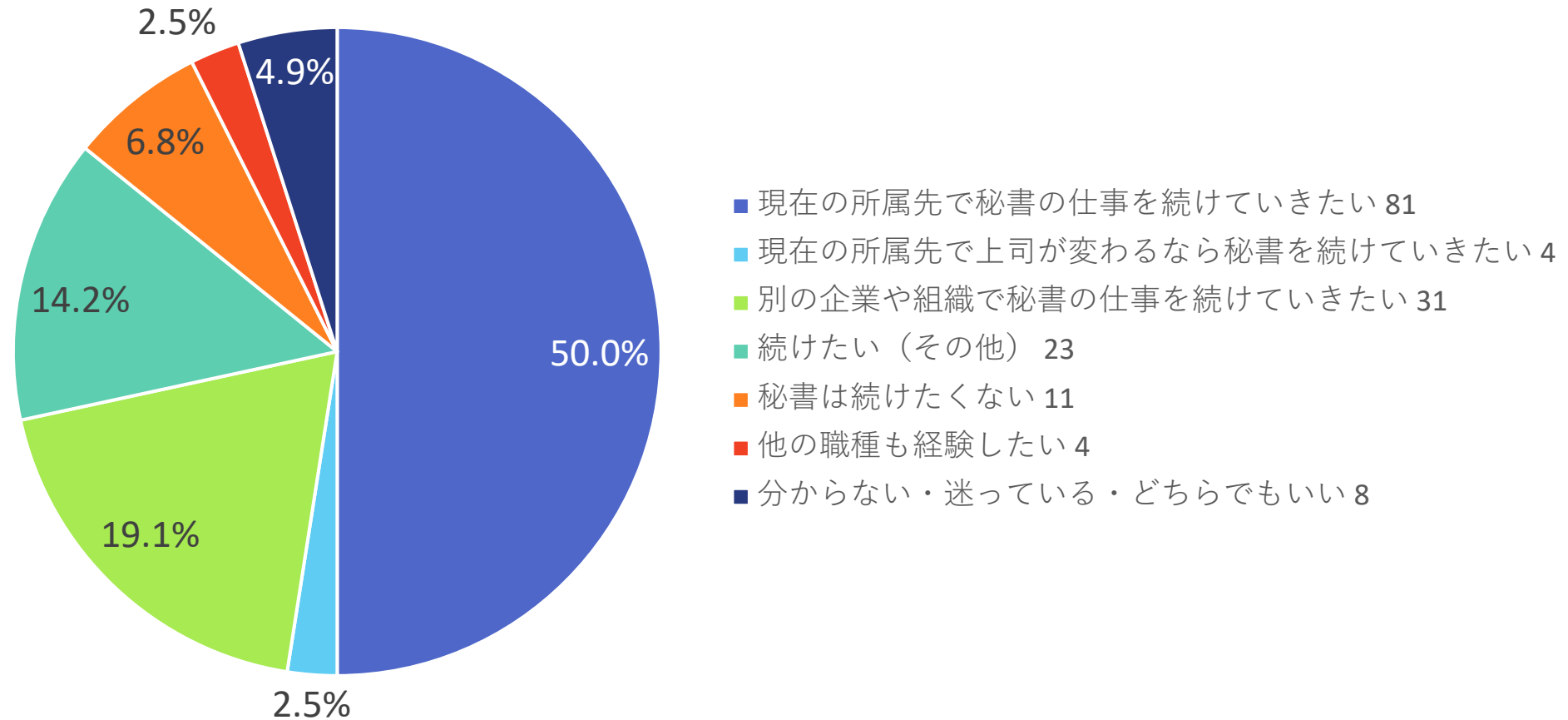
スキルアップ・ 秘書の仕事が続けたいか



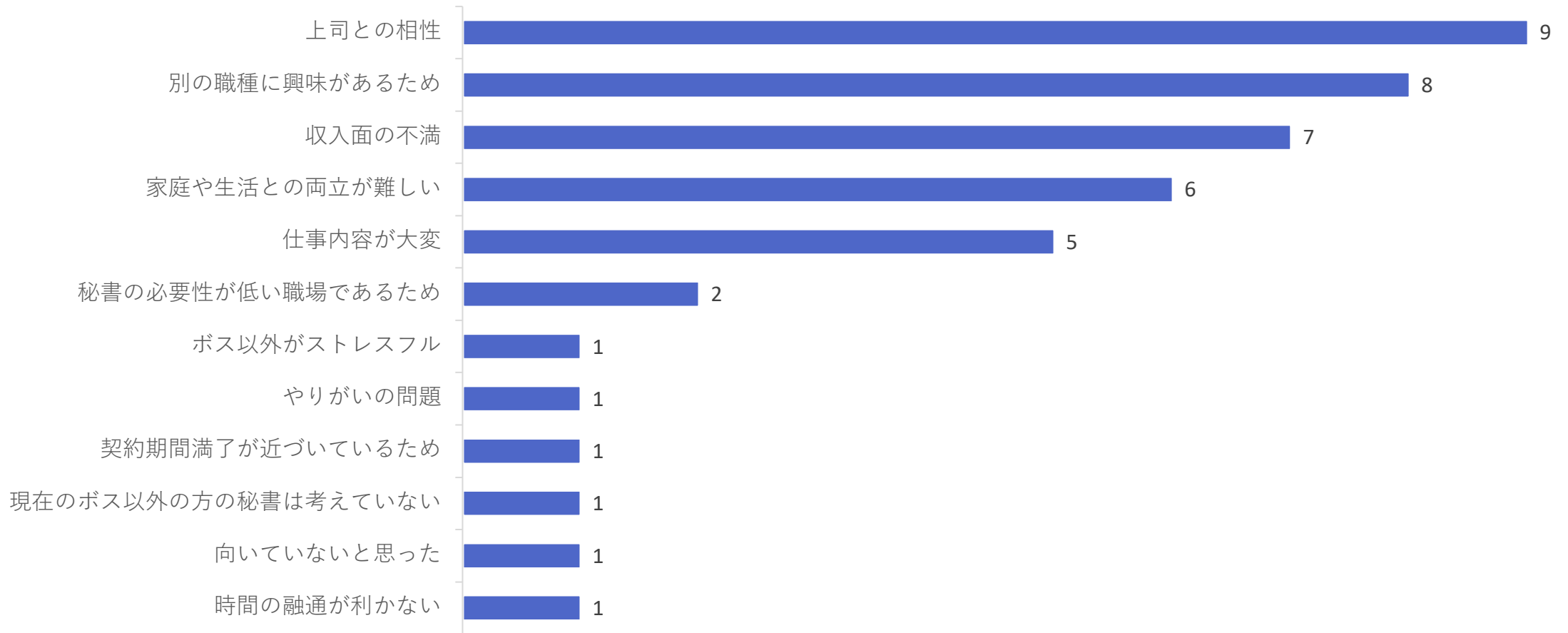


現状、多くの秘書が独学のみでスキルアップを行っていることが予想される結果となった。その他には、英会話がよく挙げられており、他にはコンプライアンスや経営面の勉強をしているという回答も見られた。

今後も秘書の仕事を続けていきたいと思えますか？



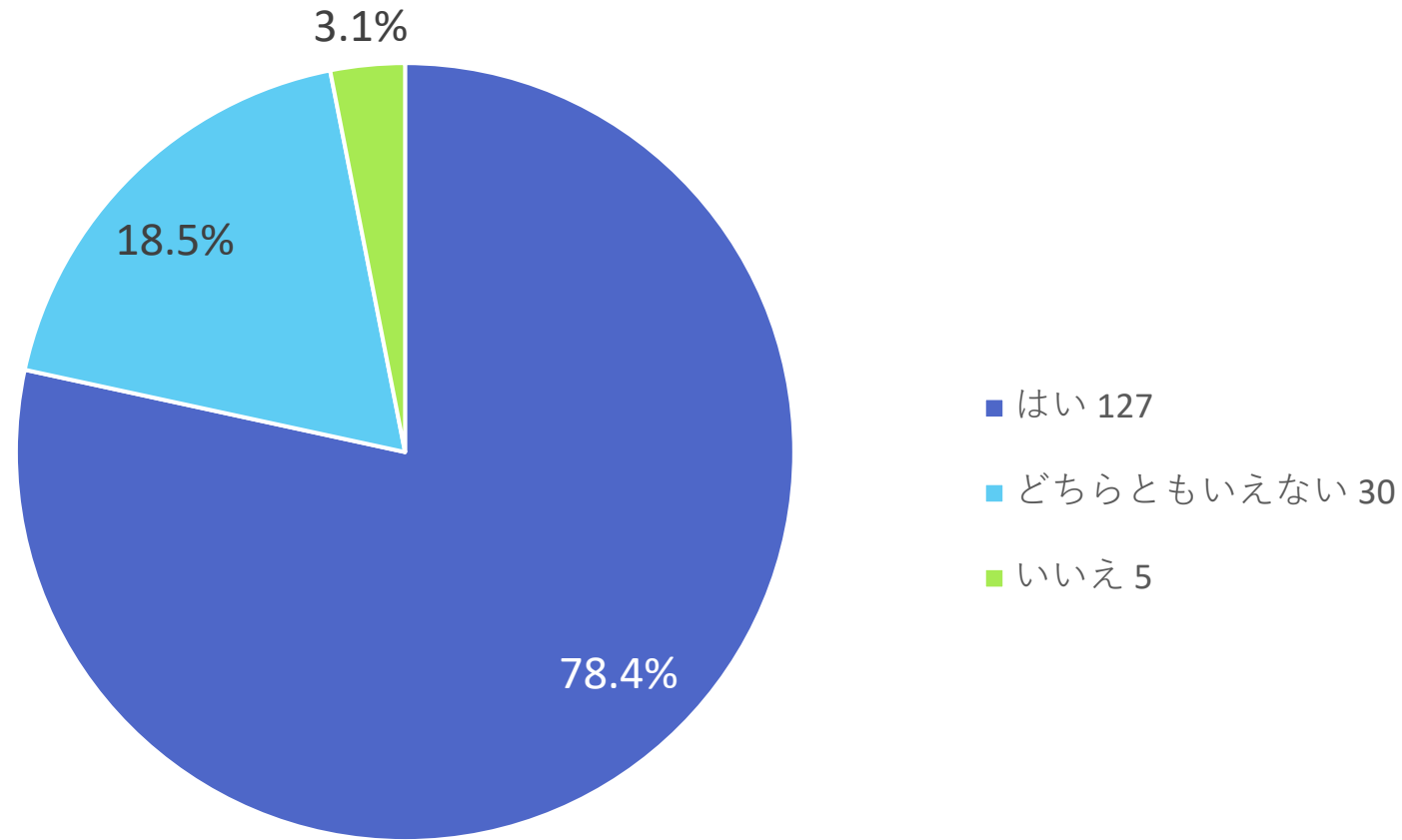
8割以上の秘書が「秘書の仕事を続けていきたい」と回答。続けたい（その他）の内訳としては、所属先にこだわりはないが現在の上司の秘書は続けたい、条件次第という回答が多かった。



「秘書を続けたくない」と回答した理由として最も多かったのが「上司との相性」であった。収入面や業務の大変さもよく挙げられる一方で、「別の職種に興味がある」という回答も8件ほど見られた。

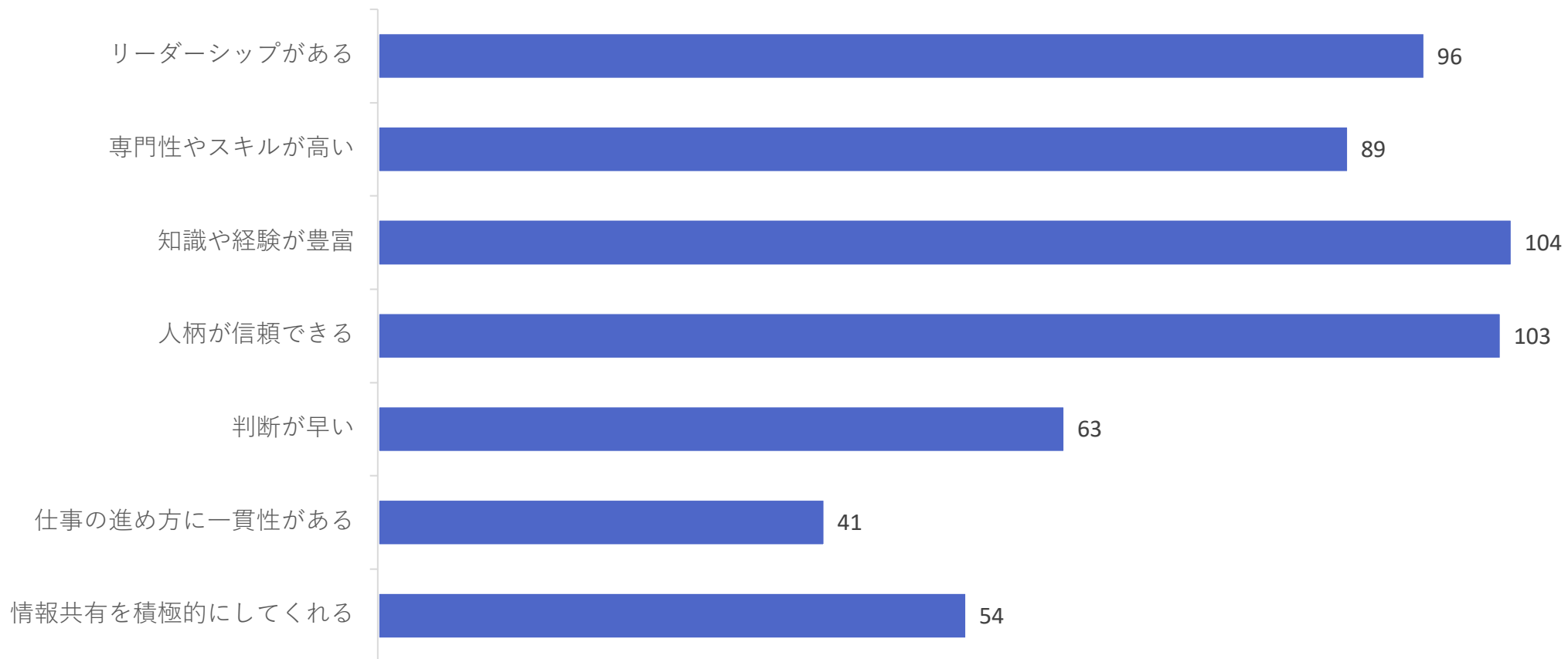
上司について



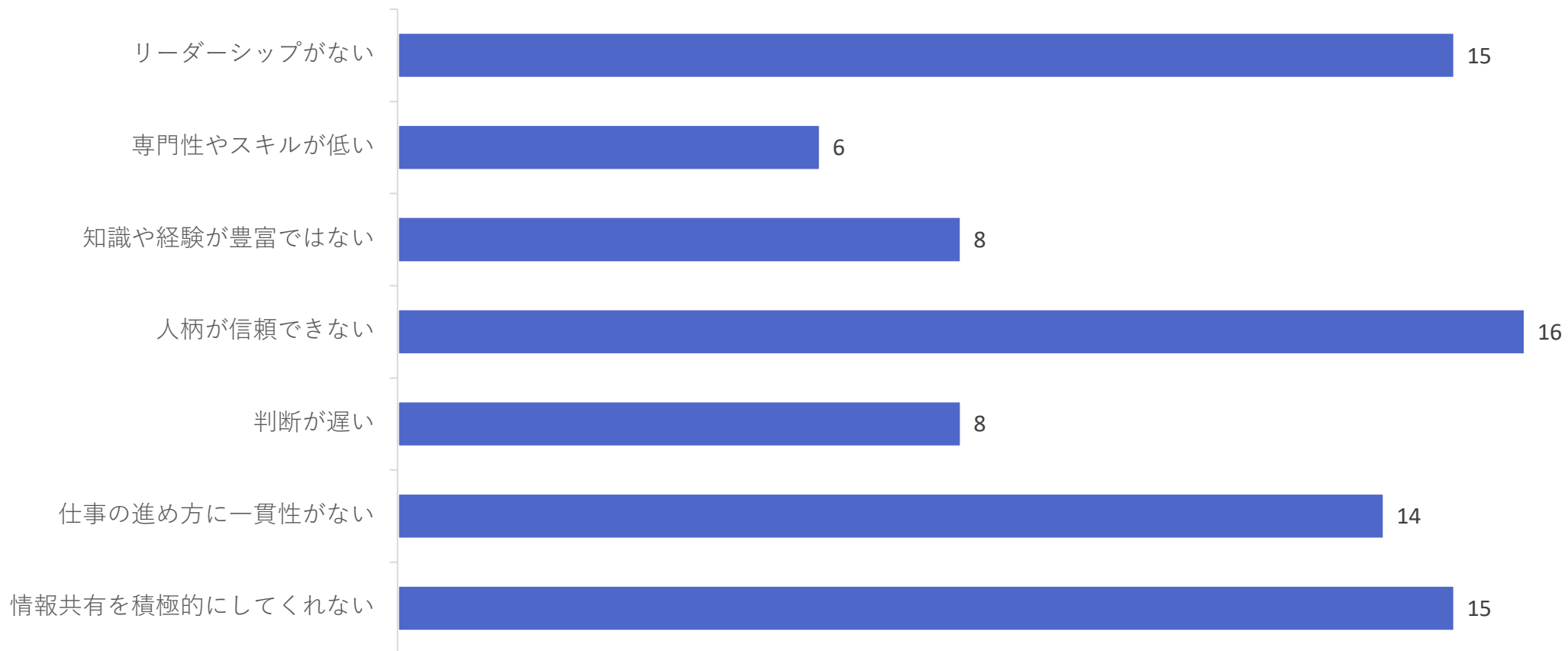


8割近い秘書が「上司のことを尊敬している」と回答した。

また、明確に「上司のことを尊敬していない」と回答したのは、全体の**3.1%**であった。

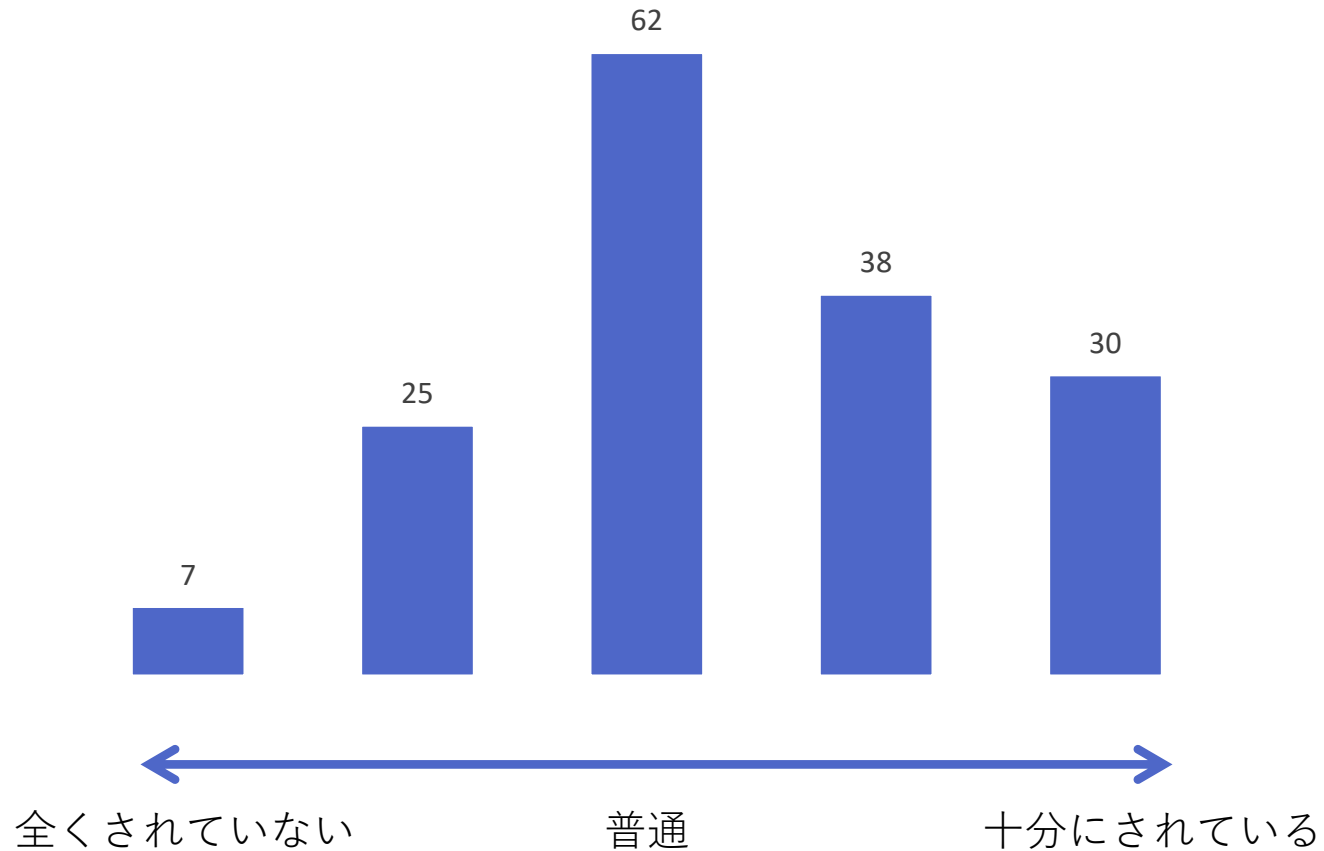


上司を尊敬している理由として多く挙げられたのが、「知識や経験が豊富」「人柄が信頼できる」というものであった。次いで、リーダーシップや専門性・スキル面で尊敬を集めていることが分かる結果となった。



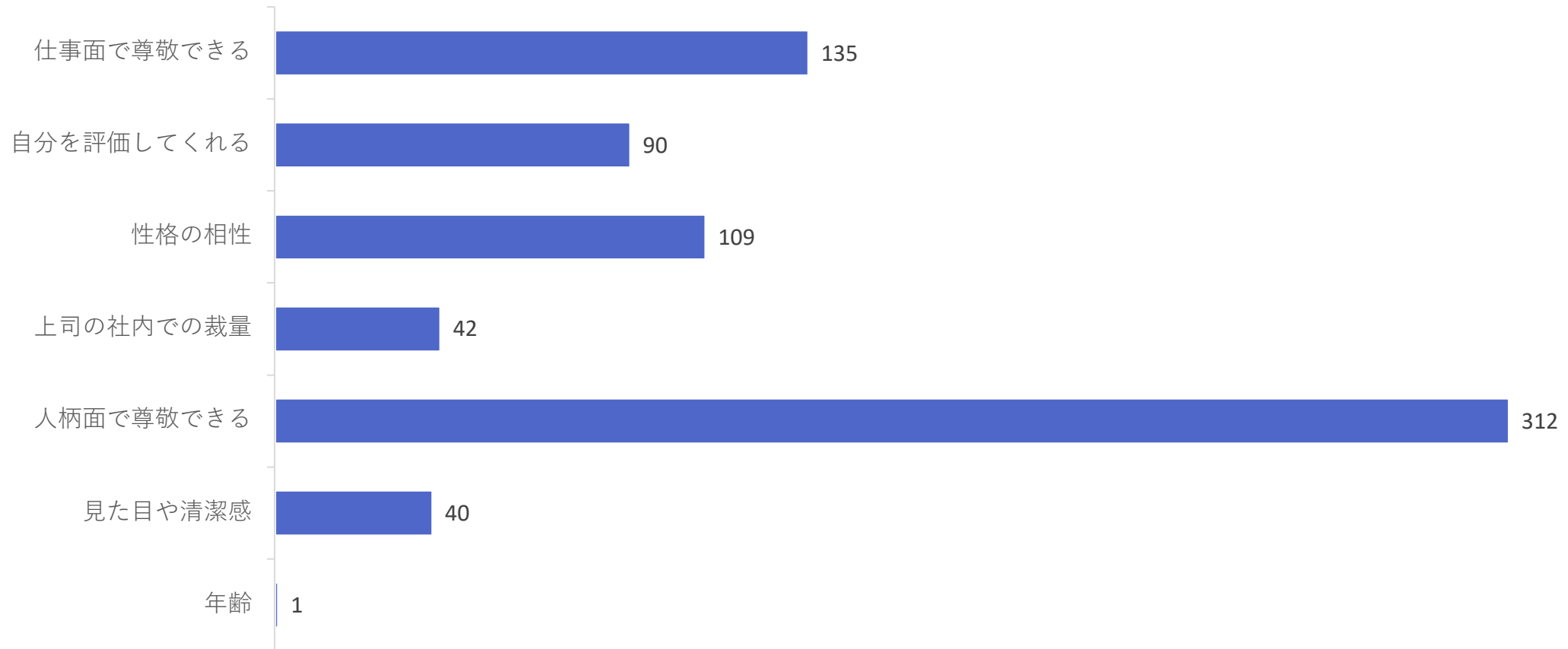
上司を尊敬できない理由として最も多かったのは「人柄が信頼できない」というものだった。また、「尊敬できる」に比べ、「仕事の進め方」「情報共有」といった秘書業務に直結する対応が多く挙がる傾向となった。

上司や勤務先に自分は適切に評価されていると感じていますか？



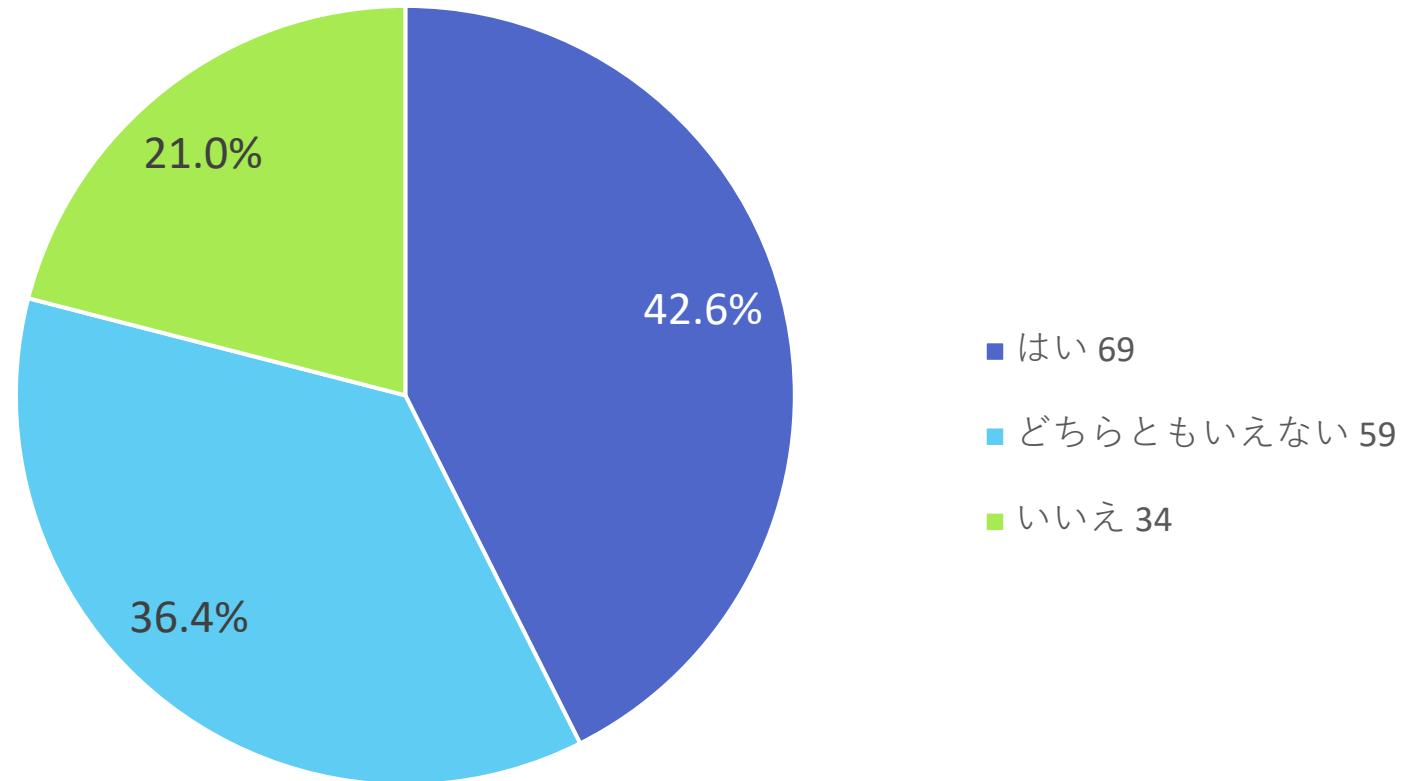
半数以上の秘書が「評価されている」と回答した。

一方で「評価されていない」と回答した秘書は全体の5%という結果になった。



半数以上の秘書が人柄面を重視したいと回答した。人柄面は、上司を尊敬できる・できない理由としても多く挙げられていたため、秘書は上司の人柄をよく見ていることがわかる結果となった。

生まれ変わってもまた今の上司の秘書になりたいと思いますか？



「どちらともいえない」という回答も多かったが、「いいえ」よりも「はい」の方が2倍という結果になった。

回答紹介

秘書としてのやりがい・ 原動力について



- 上司の社長という機能の一部として認めてもらえること
- 皆さんの仕事がスムーズに進み、仕事が完了したとき
- 責任感とクリエイティブな職種
- 尊敬できる経営者の側で働ける。学びが多い
- 役員の行動や判断をサポートすることを通じて、会社の経営に寄与している
- 担当ボスの功績と感謝のお言葉
- 上司のアクションが滞りなくスムーズに運び本人が満足しているとき
- ボスの業務が円滑に進む瞬間に立ち会えること
- 求めるレベルが高い役員たちから、「さすがだね」という一言を貰えること
- ありがとうと言われたとき
- 直接的な報酬（給料など）、社長からのありがとう
- 自分自身のボスから必要とされていると感じた瞬間、他社の方から「あなたがいたからスムーズだった」というようなお褒めの言葉をいただいた時に「今後もこの仕事でがんばろう」と思えます
- 物事を円滑に進める事にやりがいを感じます
- 上司からの「ありがとう」で全てが報われます
- 先読みが的中したときのうれしさ。WIN・WIN！
- 自分が会社を回しているという自己満足
- 会社としての方向性を直に感じるができる。「秘書」という響き。尊敬できる上司の仕事のお手伝いができる喜び
- ゴールに至るためのアプローチの仕方については、ある程度自分に裁量が与えられるという業務的性質が面白いと感じる

- ボスからの“〇〇さんがいることで本当に助かってる”と御言葉を頂戴する事が原動力。他役員や部課長とボスとの架け橋になれる事にやり甲斐を感じる。（そしてそのタイミングを逃さずにお褒めの言葉をかけてくださるボスの人間力を尊敬）
- 上司やチームをサポートし、そのことがチーム全体の成長に繋がること
- 予想した事、準備した事などがハマった時
- ボスや自分の所属するグループの役に立てたな、と感じる時
- ボスのお役に立てる事
- 信頼関係
- 上司が笑顔でいてくれること
- 社長や役員との信頼関係を築きお役に立てていると感じる時。また、担当している役員だけでなく他の社員との潤滑油になることができた時
- 日々の“名前のない業務”が形になって、物事にプラスに働いたと実感したとき
- 上司との絆、上司の出世
- 自分のサポートにより、物事がスムーズに進んだこと、解決したこと
- ボスから頼りにされていると実感できていることが1番の原動力です
- 人への思いやりや優しさを原動力に仕事ができることにやりがいを感じております
- 緊急案件を、上司の機嫌を損ねないで入れきった時
- 私自身もサポートに入ったプロジェクトなどで、上司がやりたいことが実現できた時に、私も嬉しく思いますし、喜びを感じます
- 上司ひいては会社のために、役に立てている、貢献していると感じられた時、上司の業務が滞りなく上手くいった時

- 上司との信頼関係が少しずつ積み重なってきたことを実感するとき
- 役員が「ありがとう」と言ってくださる事
- 上司や関係先からのお礼の言葉
- トップの一助となっているという充足感です。（自己満足かもしれませんが）
- 陰ながら役員をサポートが出来、良い結果が生まれた時の幸福感
- 気遣いや心配り、マナーが身につく
- 役員さんにお礼を言われたり、頼りにされたとき
- 上司に「ありがとう」と言われること、組織の一員として役立っていると感じられること
- 社長を通して世界を知れることがやりがいです
- ボスに喜んでもらえること
- 先読みして仕事をして、上司にありがとうと言われたときはやりがいを感じます
- 誰かの役に立てることが嬉しい（「誰か」とは役員はもちろんですが、従業員や同僚なども含めて周囲で働く人というイメージです）
- 現在社長秘書を務めております。社長のことを大変尊敬しており、この人のために・・・！という気持ちが原動力になっていると思います
- 社内外共に感謝されることが多い
- 「ありがとう、おかげで助かったよ」と、感謝の言葉をいただいたときは大変嬉しく、この仕事をしていて良かったと思う瞬間です。秘書の仕事は、ボスによって全く異なると思います。ありがたいことに、今のボスとは相性も良く、信頼関係を築けていると感じています。秘書としての仕事の幅も広がり、唯一無二の仕事ができていると感じることも増えてきました。必要としていただけることに喜びを感じる性格なので、やりがいをもって業務にあたれています

- 黒子的な役回りで目の前の人を支援できること
- 裏方の仕事ですが、感謝の言葉やお褒めの言葉をいただけた時
- 信頼されているという実感
- 自分のサポートで上司の仕事がスムーズに進んだ時や、信頼の積み重ねによって良好な関係ができていると感じた時にやりがいを感じる
- 経営者の側で業務を行えること
- 担当している方からの「ありがとう」や最後までやり遂げた時の笑顔が見たい...これが私の原動力になっています
- 前職（別の事務職）から年収が上がった。仕事を任せられると嬉しい
- 経営者の考え方を間近で見られること。とても尊敬する上司をサポートでき、感謝されること自体にやりがいを感じる
- 自分のサポートによりボスが動きやすくなったり、業務効率に少しでも貢献できると喜びを感じます。また人の為に尽くしていることに喜びを感じます。会社の動きや、様々な情報を得られる事も秘書の面白みではないかなと思います。秘書として採用されている為、会社のセミナーや教育を受ける機会がなかったので秘書を超えた業務も挑戦してみたいなと感じます。他役員の秘書の方との交流がもっとあると良いかと思いません
- 私のお手伝いしたことが、少しでも多忙な上司のお役に立てると、とてもやりがいを感じます。以前、「1と言えば10をやってくれるので、本当に助かります。」と言ってくださいました。そのお褒めの言葉は今でも私の原動力です。私がお手伝いした仕事を上司へ引き渡す際は、上司の使うエネルギーが最小で済むようにということを常に考えています
- サポートする事が基本好きなので、秘書業務は仕事だが楽しい
- 社内で一番仕事ができる方のサポートができること

- 上司の助けになれること
- 上司の喜ぶ顔
- 月並ですが上司に「流石！」「任せて良かった」と褒められた時や、上司から信頼されているなど感じる時は、頑張っていて良かったと思います
- 上司から信頼されているなど感じる時や上司に褒められた時は頑張っていたと思います
- 上司の業務上で役に立てた時
- やりがいは、時間を有効に使える様なスケジュールが組めた時。段取りを整えて、スムーズに物事を進めることが出来たとき。原動力は「前向きな気持ち」です
- 上司や周りからの誉め言葉や、事が上手く進んだとき
- ありがとう、あなたのおかげで助かったなどの言葉
- 微力ながらもボスのサポートをすることにより世界経済の発展に貢献できるところ
- 社内で最も責任ある方のお役に立てること（パソコンの操作方法をお伝えする、という小さなことでも）
- 経営トップの仕事の間近で見て関われる。あと手土産のお裾分け（笑）
- 上司が成功すること、輝くこと
- 上司の成功を見ることが一番のやりがいです
- 上司やグループ内、関連部門のために少しは役に立っているという自負（思い込み？苦笑）
- あまりないので、このようなサイトや書籍を読んだりしてモチベーションを保っている感じです
- 信頼され、感謝されることにやりがいを感じます
- ボスからありがとうと言ってもらえること
- この仕事を通じてしか得られないような経験ができること

- 日常では関わることのできない経営トップ層の方々の近くで仕事をすることで、経営、マネジメント等に関する知見を広げることができる
- 上司の補佐をし、感謝されること
- まだ、完璧にできていないので、もっと認められるようになりたい
- 上司の業務に役立つことができたとき
- ボスの日々の業務が滞りなく進むこと
- 自分がいないと上司の業務が円滑に進められないことが歴然としている
- 上司に「ありがとう」と言っていただけのこと、他役員からも頼りにしていただいていること
- 経営陣の近くで仕事ができることです
- 憧れ
- ①会社の経営を担う上司のために、秘書として少しでも貢献できること
- ②上司と社内・社外問わず人と人のつながりをつくり出せること、また自分自身もつながりを持てること
- ③業務内容が多岐にわたるため、また、多くの人とかわるため、常に勉強になり、ビジネススキルが身につくやすいこと
- ④正解やゴールのない仕事だからこそ常に成長したい、勉強したいと向上心をもてる場所
- ⑤マニュアル化できないイレギュラーな事態に対応する必要があるからこそ、無事に対処できたときの達成感があること
- 社会的に、スキルが認められる
- 「上司にとって考えを深められる時間」を多く確保できた時。上司と関係者双方にとって、情報共有や場の確保がうまく出来た時。そんな時にやりがいを感じます
- 事業推進への役立ちを感じた時。難しい調整や交渉ができ、ありがとうと言っていただけ時は仕事冥利に尽きます

- 多忙な上司が今必要としていることを、過不足なくスムーズに提供できた時。雑談などで、ストレスを少しでも軽減してもらえたと感じる時。色々な方と接することが、たくさんの学びに繋がっていること
- ①自分の好きと強みを活かせる状況
②役員のサポートが会社の貢献に繋がる点
③まだまだ未熟だとの実感と、期待を上回りたい向上心が努力のモチ
- 仕事をきっかけに社内のいろいろな人と関われること。担当の上司が昇格されたとき。上司や周りのメンバーに感謝してもらえるときに、良かったと思います
- スケジュールの調整が上手くいったり、先読みした自分の行動がピッタリ当てはまったときにやりがいを感じます
- 上司の仕事や社員との関係性をうまく取り持てたり、自分が上司にとって支えになったりしたことを自分で感じ、上司にお礼を言われることが原動力になる
- ちょっとしたことでも感謝の言葉をいただける
- 上司に感謝の言葉を頂戴したとき
- 自分が組んだスケジュール通りに1日が終了した時
- 100点を取り続けるという緊張感、大きな成果になって見えること
- 当たり前のようにこなした仕事に対して、上司からお礼を言われることが原動力です。私でもお役に立てるのだと、嬉しくなります
- 経営を間近で勉強できる。部長格以上との付き合いが多いので、勉強になる
- 周りの皆様と円滑に業務が進んだ時の自己満足感。周りの方々、ご本人が喜んでくれたり、お客さまに満足していただけたと感じた時の気持ちがあると辛いなど思ってもその先へ進む原動力となります
- 担当幹部から頂く感謝の言葉

- スケジュールリングなど、ミスなく業務をうまくまわせた時にやりがいを感じます
- 私が行った業務について上司が好意的に反応してくれること。他の社員の方と上司との橋渡しがうまく出来た時の満足感。業務において自分自身の自己満足もあるかもしれません。
(うまくスケジュールリング出来た時や、先を見越して行ったことがその通りになったこと。)
- 上司の会食に同席させていただくときは信頼を得られているのかな?と思えます
- 物事の見方、捉え方を日々学べる所です
- 上司のサポートをすることができたとき
- 社外の役員の方からの評価
- 先回りした行動が上手くハマった時
- 人を陰から支えることが出来ること
- 上司が滞りなくスケジュール通りに業務遂行された時。ミスなく対応するのは当然の業務なので、期待以上のことをして喜んでいただけた時
- 上司の感謝の言葉とお給料
- 心配り、おもてなしが身につく
- 経営層のサポート
- 滞りなく上司の1日が回った時
- サポートできたと思った時にやりがいを感じる
- 突発的なリスケ業務が滞りなく進行した時に、やりがいを感じます
- 経営層の一番近くで会社全体のことを知れること。自分が裏でサポートすることで、上司が無事に業務を遂行できると、やりがいを感じる。(特に出張や株主総会など)

- 社長がロスなく1日活動できたとき
- 上司のサポートがうまくできた実感を得られた時、やりがいを感じる。
- 会議や企画が上手く運んだとき
- 上司から「ありがとう」と言われたとき。普段、これでいいのかなと迷うこともあるけれど、この一言で自信となり頑張ろうという気持ちになる
- ボスの思い通りに、物事をすすめることができたとき
- 優秀なトップマネジメントの働き方、考え方を間近で知る、感じることができる。尊敬することが多く、自分の勉強にもなる。感謝の言葉を伝えていただいた時はやりがいを感じる
- 感謝の言葉をいただいたとき、頼りにされたとき
- 自分が調整を行った結果、新しいプロジェクトが成功した時

- 難しい案件がうまく行えたとき
- 感謝されること
- 「ありがとう」の一言に尽きます
- 唯一の存在であること



回答紹介

上司にこれだけは やめてほしいこと

※勤務先や上司の方、回答者ご本人が特定できそうな回答は、一部割愛させていただいております。



- 自分でスケジュールを入れたせいでダブルブッキングを起こすこと
- 気分がむらがある
- 朝令暮改
- 家族旅行の手配を依頼される
- しょっちゅうスケジュールを変更するのは秘書泣かせなので、控えてほしい（特に夜の会合の翌日）
- 機嫌が悪い時にあたられる
- 理不尽に怒ること
- 創業者なので仕方ありませんが、常に自分を最優先するべきと思っているところ。
※数年かけて随分と待てるようにはなっていました
- 優柔不断なところ
- 突発的なドタキャン
- 曖昧な回答
- 仕事の請負過多。気分の浮き沈み
- 出来ることならば、健康のために禁煙
- 公私混同
- 今の上司ではないですが、激高するタイプ（感情の起伏が激しい）の方はお支えできません。。
- アイディアを出して気にいると、そのまま私の仕事になる事
- 共有を忘れてしまう
- ひとりよがりな経営
- 決裁を覆すこと
- 人を指で指す

- 「僕の秘書がやってくれますから」と、軽く業務を引き受けてくるのはやめて欲しい
- レスが遅い、またはスルー
- 当日の気分で移動手段や予定変更することを、出来るだけ減らして欲しい
- さしで飲みに行こうと誘わないでほしい
- 自分で入れた予定を伝えてくれないところ
- わかっている前提で話してくること
- 秘書的な視点も合わせ持ち細かく厳しいところがあります
- もう少し平等に接して欲しい
- 女性問題
- 音信不通の時間がある
- 未婚の私に職場の色々な方を紹介してくる（後日結構気まずい）
- ゴルフの予定を入れすぎること
- せっかちな気質
- ゴルフで不在にしていることが多く、2週間ほどお会いしないことも多々あります。確認事項や郵便物も溜まってしまうので、もう少しコンスタントに会社に出社して頂きたいです
- 自由すぎる、こだわりが強い
- イライラし始めると主語がなくなり、何に対して何をしてほしいかわからない。また、社内の人間にもっと心をひらけばそんな誤解や苛立ちがなくなるのに、と思ったことは多数ありました

- 気を遣って遠慮しすぎているなど感じる瞬間があること
- 連日、会食が続くことを自分は仕事をしていると勘違いしている事
- 急に外出していなくなる。「社用車がないから」という理由でタクシーに頻繁に乗るため、タクシーチケットの消費が激しい。経費の使い方がたまに怪しい時がある（飲食費の人数や相手先など）
- 3月末までに使い切らなければならない経費を3月ぎりぎりまで残してしまうこと。今後は、計画的に使い切れるよう秘書がアシストしていこうと思っている今日この頃です
- 情報を共有しないでおいて、結果を求めること
- 公私混同（公用車）
- 人たらしなことに気づいていただきたい
- 早食い
- 喫煙 身体に悪いので
- もう少しゆっくりしてもらいたい（ハードスケジュールなので）
- 一旦決めた内容をコロコロと変えること。例えば会食で、悩んだ末に決めたお店や手土産を、会食の1週間前に変更したいと言い出すこと
- 回答を先延ばし期限を守らないこと...
- むちゃぶり
- 秘書を馬鹿にして見下すところ
- メールの既読スルー
- 言う事や判断基準がコロコロ変わるところ
- スケジュールをお伝えした後、優先順位を忘れること
- 体を休めて欲しい

- 忘れ物が多い。会食先に荷物を忘れてくる、社用車にスマホを置いたまま用事に出かける、社内でカードキーを無くす等
- 秘書へ誤った指示をしていたことを認めない（自筆の指示書きがあるのにも関わらず）
- ふるさと納税返礼品で要冷凍の食品をたくさん買わないで欲しいです。冷凍庫に入りきれないので。。
- スケジュールを教えてくれないこと
- 短気すぎて、何かあるとすぐ汚い言葉を発する
- 誰に対しても隙を見せないようにしているところ。秘書くらいには、「あちゃ〜」という面を平気で見せていただきたい！笑
- 役員車の予約について要望があいまい
- たまに時間に遅れること
- 今日は機嫌が良くないと分かりすぎるテンションの低さ
- ムラがある。マスクを外す事が多い。他の社員からの印象が悪くなるのではと気がかり
- 返信がないとき
- 社員に喋りすぎる事
- 私用を持ち込む量が多いこと
- 突然音信が途絶えると、心配になります
- 言える範囲だと、食後に手で隠さずに爪楊枝でシーシーするところ
- 締切ギリギリの指示
- 想定外の事をつっこんでくること
- 機嫌で怒る事

- 逐一スケジュールの変更を教えてくれない
- 秘書やスタッフより気が利きすぎる
- 公私混同が多いこと
- アルハラ。コロナとか全く関係なく、飲みに行くし、強制参加
- 大きな声を出すこと
- PCなど苦手な方なので、設定や不具合などの対応がある。社内ヘルプデスクがあるのでもう少しがんばってほしい（笑）
- 感情的に怒鳴ること、言葉遣いが汚いこと
- とにかく働く人なので、秘書や部下への指示の量が多い。周りも秘書もずっと忙しい
- 言ったことを忘れる
- 立ちっぱなしでの長時間に及ぶ世間話
- パワハラ行為、時期尚早で他者に話を進めること
- 業務時間外（夜中・土日・祝日）まで仕事をしないでほしい
- 自分の知らない所で勝手にスケジュールを入れて、それを知らせないでいる事
- 自分に甘いところ
- 密室でたばこを吸うところ
- 人見知り、コミュニケーションが苦手な子のために、心配だからと出張の手配や食事の手配を特別に頼むこと
- 秘書業務を理解してない
- 感情的に怒鳴ること

回答紹介

秘書として 困っていること・ ストレスに感じること

※勤務先や上司の方、回答者ご本人が特定できそうな回答は、一部割愛させていただいております。



- ストレスに感じるほどではありませんが、どんな仕事をしているのかがよく理解されていない
- スケジュールの埋まり方が激しくなってきた調整に苦労している
- 自分の業務ではないことをやるのが習慣化されている、お給料が低い
- 前任の秘書さんと比べられる事
- 女の園なのでギスギスしていることもある
- 秘書の仕事はそもそもコントロールが効きにくく、かつ気遣いをするためストレスがたまりやすい傾向にある。また、コロナ禍でコミュニケーションも減っているため、部署全体がギスギスしている
- 英語力。他部署の秘書とのコミュニケーション・家庭（介護）との両立
- 上司からの返答や意思が不明瞭な時。自分の対応力不足を感じ、ストレスを感じる
- 残業が多い。オンとオフの切り分けができない。ワークライフバランスが取れていない
- ボス以外のことを優先しなければならない時
- 役員全員がせっかちな性格なため、同時進行業務が発生した場合の報告などをこまめにしないといけないこと。理不尽な怒りをぶつけられること
- 休暇中の業務を任せられる人材
- 秘書業務を把握している人が私しかいないので相談ができない（仕事の評価者が秘書についている方とは別の方なので正当な評価を得ているとは思えない）
- 嫌なことがあっても外に漏れてはいけない内容もあったりするため気軽に人に話せない。上司のスケジュール都合により自分の予定も左右される
- 秘書という職務は私一人ですが、グループアシスタントの方が数名おり、組織上同じ部署に全員所属しているため、仕事の線引きが難しく、今は多少改善されましたが悩んでいます

- 長時間労働になることと、地位が低いこと
- 上司について探りを入れてくる役員への対応
- 時間外対応
- 対象者の流動的な会議案内
- 秘匿情報を扱う関係上周りに相談出来ないことが多く、時折り孤独を感じる。また、常にお忙しいボスとゆっくり話せる機会が無い中で、少ない情報から機微な部分まで気を遣いつつ業務にあたる必要があり、時に周りからは“秘書だから知っているだろう”と思われ、聞いてない事も把握しているかの様に対応しなければならない時にストレスを感じる。些細な事が様々な場面に繋がる、という事が周りに理解され難く、秘書は細かくて口うるさい人と認識されているのではないかと不安を感じる
- 上司の家政婦業までさせられること
- コロナ禍以降の秘書業務がアップデート出来ておらず、情報も少ないので悩むことが多いです
- ボスが忙しすぎるので話しかけるタイミングが難しい、事務的手続きについては秘書が対応でもよいと思うがどこまで自分の裁量でやってよいか、時々悩みます
- 本部長以下クラスの方々のレベルの低さ
- 社内で秘書業務の理解が極めて低い
- 秘書さんのお繋がりがなく、情報が足りないこと
- 自身の成長方法がわからない
- ①担当している社長や、役員との関係とは別に所属している部署の部長などが実際には自分の評価を決めていること。また、その方達の異動などなど経験値が浅かったり秘書の仕事を理解できる部署長は少ない
②役員から見えている仕事を表、役員から見えない仕事を裏とするなら、自分の仕事を表からも裏からも見て評価できる存在がいない
③社長や役員によって秘書に求める業務の幅が異なる

- 上司の職種の特性上、スケジュールにおいて時間の確約が難しいこと
- 秘書業務に絡めて臨時の仕事も付いてくる
- 毎日のランチメニューを提案することに、時としてストレスを感じます
- 身近な部署の方にも、秘書がどのような仕事をしているのか理解して頂きづらいこと
- 常時、上司のご機嫌を気にしないとイケない
- ストレスに感じるほどではありませんが、どんな仕事をしているのかがよく理解されていない
- 自分の業務内容について詳しくわかってもらえない。相談出来る人がいないこと
- 他部署業務も兼務していますが、私の仕事の全体量を正確に把握・管理する人がないこと
- 正解がない。気楽な仕事だと思われがち
- 役員の秘書ではなく「みんな」の雑用係と勘違いされる時がある事
- 1人なので「普通」がわからなかったり、秘書ではない上長が評価者のため目標設定が難しく、日常の苦勞が評価につながりにくい
- 1人体制なので秘書課長はいるが報告は出来ても相談がしにくい環境であること。なのに重責を感じる業務が多々あることです
- 兼務をしているので仕事量はかなりありますが、秘書だけとなった時の仕事量に不安を感じる事があります
- 先輩秘書のワンマン、担当役員の威光を笠に着るところ
- モチベーションを保つこと、上司との距離感について（プライベートと仕事の線引き）
- 直属の上司は社長じゃない別の方なので、仕事への理解をしてもらうのに苦勞をしていること

- 上司が情報共有せずに個人的に入れてしまう予定を把握するのが難しく、バッティングしてしまうことがある
- 2名体制で秘書業務を行っておりますが、コミュニケーションを取ることが難しく、自己顕示欲も強くストレスを感じています
- 明確な評価ができない・されないこと。明文化できない業務が多すぎる
- 秘書なので当たり前ですが、会社の機密情報を多く取り扱います。秘書は私しかいないため、社内で仲良くさせていただいている方にも話せないことの方が多いです。そうすると、仕事に関する話し相手は結局ボスに。。そのおかげか、ボスとのコミュニケーションは十分とれているし、信頼関係も深まるので良いのですが。。そうすると、秘書あるあるの「愛人説」が生まれます。
- 秘書業務を軽んじてみる人がいること。秘書業務に専念できない（全く関係ない仕事を振られる）ときがあること
- 直接の評価につながらない。できて当たり前という対象で減点方式のような気がする
- ミスをしないとされている環境
- 有給休暇がとりづらい
- 同じ部署の中で秘書業務をやっているのは一人だけなので、部内ミーティングの時など孤立感を感じることがある
- アレンジがうまく進まない時
- 現時点では、特にありませんが、コロナ禍でF2Fの機会を確保する事が難しくなった時は積極的にこちらからWEBでの1on1をお願いし、コミュニケーションを取るように心がけました
- 業務内容が見えにくいので評価されにくい
- 秘書の業務を理解してもらえないことが多い
- 社内コミュニケーション

- 事務所に秘書が私だけ（社長秘書は本社にいるため交流がない）。
総務・庶務と兼任なので、繁忙期が重なると残業しないと仕事が間に合わない。
- 日頃のちょっとした困ったこととお話できたり、自分で悩むより相談し合える状況ですと、スムーズに解決できるのではないかな。。と感じます。
- 上司が忙しすぎると相談のタイミングが難しい。テレワークが進むとますます難しい。会食のお店の期待度が高いとお店選びに大変困る
- もう1名の秘書に適応能力が無く、今後も飛躍的な変化や向上が見て取れない為、日々のストレスが相当である
- 他部署の方には秘書の苦労は分かりづらく、秘書は楽と思われていること
- 忙しい、いつもプレッシャーを感じる
- 苦労を周りの人に理解してもらえないことです。上司によって苦労も様々なので同じ秘書同士でも分かり合えないこともあり辛いなと感じます
- 役員は親会社から出向で来るため、2年～長くても6年で変わります。新しい上司とのチューニングは常にストレスを感じます
- 時間の自由が利かない、休みが取りづらい、閉塞感など
- 最終的な判断は私でなく社長になるので、仕事が滞ること
- 秘書業が長いということだけでなぜかパーフェクトな人材だと勘違いされる
- 責任を持ちたくないのに言う事は言う人と接する時
- 部下の秘書が替わり、関係がうまくいっていないこと

- 忙しいことや、やりきれるかということに対し、常にプレッシャーを感じる
- 他の秘書の方と比べて、自分自身の秘書としての適性、コミュニケーション能力の低さが気になる
- 先輩秘書に常識が通じない。英語ができない人から「英語ができる＝通訳もできる」と勘違いされて通訳に駆り出されそうになる。秘書を通したコミュニケーションに慣れてない人の対応が面倒
- 困った時に共有できる人がいない
- 感情的になるタイプの上司なので気分次第で怒鳴られる。自分の気分の切り替えスキルを上げたい。また、休日や深夜にも連絡があり即レスしなければならないので会社スマホを手放せない
- 業務範囲が広く、どこまでやればいいのか判断に迷うことがある
- お会いする機会が少ないので、スケジュールは不明
- 秘書としての仕事を当たり前に行った上で他の仕事で結果を出さないと評価されないところ
- 職場内での色々な人間関係で、内密事項が多すぎるため、知らないふりをすることに気を遣うこと
- 社内には秘書が他にいないため、秘書業務の正解がわからない、マニュアルがない、ネット上の情報にばかり頼っている
- ボスは言ってることがコロコロ変わるタイプ
- 上司が忘れっぽく、会話よりもメールの方が記憶に残ると送っても、全く覚えてないことがあり、仕事が滞ること。上司の指示内容が理解出来ない時に、相談する相手がないこと
- 今まで専任の秘書がおらず私が初めての専任で入ったため、周りの従業員の「秘書」に対する理解が得られていないと感じるときがある。また同じく周りの従業員が秘書の使い方を分かっていない

- 上司が思いついたら即、質問攻め、資料作成を求めてくる。真っ向から対応しているとストレス極まりない
- 常に緊張感を持ち続けていなければならないことはたまにストレスになります。（刺激にもなりますが...）
- 「上司」よりも、社内の秘書さんたちとの関係の方が気を遣うことが稀にあること。担当している役員の役職によって、立場の強弱が生じたり、優劣を判断されることがあること
（例えば、「社長秘書」の方が、「執行役員秘書」より立場が強い等、社長秘書と仲良くできないと社長とのアポイントメント調整に難航する等）
- 秘書室内で業務上の会話も少なく、コミュニケーション不足。業務外のお愛のない会話もなく、息が詰まる
- 上司によって使うツールやスピード感が違うので様々な対処が必要になること
- 世の中からの見られ方
- 一人で業務をしているため、細々とした不満や改善して欲しいことを他の人に分かってもらいにくく、自分の中でのみこむことが多い。他の業務と兼任のうえ、ついでに上司との間にも別の上司がいるため、指示の板挟みにあいやすい
- 役員と現場社員の狭間でもどかしくなる事がある
- 上司より、同僚の方が大変さに対する理解が無い
（何が大変なの？ときいてくる割に説明しても、ツールの効率化で解決してしまえば良いじゃん、など一蹴されることが多く、そういう方法で解決する問題ではないといつも内心想う）
- 何もやることのないときの過ごし方（掃除や書類の整理、調べもの等、思い付くものは行っていますが、他の方の場合どうなのか気になります）
- 秘書として上司にこうしてほしいと伝えたいときにどう伝えて良いかわからない
例：フリースペースで爪を切る上司。特に私はすごい嫌なんですけど.....どう伝えて良いかわかりません

- 忙しさが他人に伝わりにくく、残業してもアウトプットがわかりづらいので、残業することに対して申し訳なくなる。上司からも指摘を受ける
- 評価者が業務に関与していない。理解されていないと感ずることがある。業務量も難易度も把握されていない。上手く伝えて行かなければともどかしく思っています
- 弊社の場合、秘書の立場が狭く、理解がないため、嫉妬を受けやすい。悪者にされやすい。会社の環境に大きく左右されていると感ずる
- どうしても秘書とそれ以外の社員に分かれてしまうので、孤独を感ずります。また、評価基準のない人をサポートする仕事に対して、数字で5段階評価を受けることに違和感を感ずります
- 仕事の共有・分担が難しい
- 上司の喜怒哀楽への対応
- ボスとのコミュニケーションが難しい
- やはり十人十色のコミュニケーション。正解は無いですが、常に探りながら。やりたい仕事なのでストレスではありません
- 社長と社員の板挟み
- 他に相談できる人がいない。上司への愚痴を他の社員の方に（仲が良くても）言えない
- オンオフの切り替え／直属の上司（担当幹部でなはい）からの助けを期待できない
- 弊社では秘書に対する理解が少なく、上司との距離が近いことを疎ましく思う社員が多いことがストレスとなっている。また、上司も若く自分自身のことを秘書を介さずされるため秘書業務が少なく、暇を持て余す時間があること
- 役員秘書であるため、他の管理職とギクシャクする事もあります
- 上の人同士で話せばすむことも、間に入られることで、二度手間になるとき

- 社長の代わりに資料作りに毎回膨大な時間がかかる。社長の名前で作成するため、絶対失敗できないからとても大変...
- 業務について、社内で相談できる上司や同僚が居ないこと（孤独感、疎外感）
- 職場秘書で対応のバラつきやプロ意識に欠ける方がいらっしゃること。それにより上司のスケジュールに影響がでないか心配している。上司が関係あると部下の方が自分でできることも秘書に調整を依頼してくるのでお断りにも気を使う
- ほぼ事務仕事で、思い描いていた秘書の仕事ができていない
- ほとんどが派遣や契約なので、期間が迫ってくると不安に襲われます
- 社内に相談相手や雑談をする相手がない
- 役員に応じた細かい心配り
- 前任者からの引き継ぎが、情報不足な点
- 正解がわからない
- どこまで上司の仕事内容に加わって良いかわからない
- 自社の秘書業務しか分からず、他社の秘書がどのような秘書業務をしているのか知りたい、交流がないこと
- ITリテラシーの低い秘書が多く、困っている
- 案件の詳細まで分からずに、その案件が重要なのか至急なのか等、判断に迷うことが多い。担当している役員と、評価する上司が違うので「自分はこれだけやってるのに」と思うことがある
- 引き継ぎなく今日までやってきましたが殆どが独学で自信がもてないまま。近くに同じ立場の人がいないので、相談もできず。一部の女性から嫉妬されてるようで面倒くさい。でも最後まで笑顔で頑張ります！
- 昭和気質で、怒鳴る、パワハラが当たり前なこと。ストレスで病み10kg痩せた

- 希望通りの有休取得が難しく、上司命令による休みの変更や急な残業があるため、家族との時間を優先することが困難である。その時に、何のために働いているのか、矛盾を感じてしまう
- 上司に同じことを何度も伝えなければならない。留守時に私の名前でメールを誤送信されること
- 秘書未経験者に業務を教えること。パターン化しないと理解できない方への伝え方が難しく困っています（いつも同じではないから）
- 情報の整理がもっと上手くなれば業務の効率があがるのにな...と思うことがしばしばあります
- 秘書が一人のため、自分のやっていることを理解してもらえない同僚がいない
- 秘書が私しかおらず、情報共有ができないところ
- 高圧的であったり声を荒らげるなど、上司との性格が合わないと感じるときはストレスに感じます
- 自分の都合で働いたり、休暇を取ることがなかなか難しい
- 他に秘書さんがいないため1人でこなさないといけない、相談したりアドバイスをもらったりしたくても出来ない
- 入って3ヶ月未満で経験以上の能力を求められ、終わらない業務は80時間の残業でも終わらない
- すべてにおいて、こちらの責任になること
- 何でも屋になってる

回答紹介

上司から褒められて 嬉しかったエピソード

※勤務先や上司の方、回答者ご本人が特定できそうな回答は、一部割愛させていただいております。



- 私がいなければ力を3割も出せない、とFacebookに投稿して紹介してくれたこと
- あなたがいなかったら仕事が回らないと言われた
- 以前の上司に『君を秘書として採用して良かった』と言われた事
- 雨の日にタオルを出しておいたことを褒められた
- お礼状やメールの文章が丁寧で素晴らしいと褒められた
- 上司からの指示に対し、想定を上回るスピードで対応できたとき
- 仕事で評価されたこと
- 手土産の選択を褒められた
- 他の社長に私の仕事を自慢していたところ
- 丁寧に仕事をしていると評価された事
- 創業者に「うちの新しい秘書は、肝が据わっている」といたく感心され、その後の対外的なアポイントなどは、細かい指示は出さずお任せいただけるようになった
- 特段何かを褒められた記憶はありませんが、定期的に感謝の気持ちは伝えてくださるので頑張れます
- これといったエピソードはありませんが、私がやりとりした外部の方から私について上司にお誉めのお言葉をいただくことがあったようで、そのお話をしてくださいました
- 仕事がつらく、退職を申し出たところ「あなたみたいな良い人が続かない会社なら、会社なんてやらない方がいい」と言われたこと。
* 常套句でしょうが、字面通り受け取った方が幸せなので褒め言葉と捉えることにしました
- 手配関係は「適当にお願い」で、だいたい手配できるので、さすがだね、と褒められた
- 「僕のご事は全部秘書に任せてあるから」と言われたとき

- お渡しした地図、電車ルート案内がわかりやすかったと言って頂いた。字がきれいと言われた
- 歴代のナンバーワン秘書と言われた
- さすが〇〇さん、〇〇さんだから出来たサポートだね、というような自分にしか出来なかった、という点でお褒めいただけるととても嬉しいです
- 「あなたじゃなきゃできなかった」と言われた事
- どんな状況だったかは覚えていないのですが、「あのフォローは良かったですね。今度からそれで行きましょう」と言われた時
- 手土産のセンスを褒められた
- 出張先で、依頼されていなかった資料を準備していたところ、急遽必要となり、いてくれてよかったと伝えてくれたこと
- エピソードとしてはないけれど、全面的に信頼はしてくださいるので安心して業務に取り組める
- 前の会社で秘書をしている時のことですが、担当していた副社長が退任される際、退任することは寂しく思わないけど、仕事と一緒に出来なくなる事が寂しい、と言ってくださったこと
- 会議をセッティングして、関係者に配慮した受け入れをしていたら、他の部署や社外の人に「僕の秘書、良いでしょ！」と自慢していた時に嬉しかった
- 「あなたがいてくれて、よかった」と言われたこと
- 直接褒められたことはありませんが、周りの方にこれまでの秘書の中でダントツで優秀な人だとおっしゃってくださっていること
- ちょっとした提案をしたときに、「さすがだね」と言っていたこと。普段から仕事を見てくれるのだと、嬉しく感じました
- 外部の方との会食やミーティングの設定をした際に、先方の方が私の事をとても褒めていて、上司自身も「鼻が高かったし、嬉しかった」と言ってもらえた事

- 「あなたがアシスタントでいてくれて助かっている」といわれたこと
- 「ありがとう助かったよ」と言われた時
- さすが！と褒められたこと
- 仕事が早いとよく言ってくれる
- 上司の抽象的なオーダーの資料を上司のイメージ通りに作成できたとき褒められた
- 進退について悩んだ時に「会社としてあなたにできることはない？」と聞かれたことです
- 課員の現状や懸念点について意見を求められ、チーム作りに反映してくれるなど信頼と裁量をいただけたこと
- 直接ではないですが、人づてに褒めてくれていたことを知り、嬉しかったです
- 上司の家族の誕生日や予定も把握して、大切な行事などはなるべく優先してスケジュールを組んでいるところをほめてもらえたこと
- 褒められたというより、感謝の言葉をもらった時は嬉しい
- 予定にない急なグループ会社の訪問時、日持ちのする配れるような手土産をストックしており、社長にお渡しした際、ありがとう流石だねと仰っていただき、その言葉を大変嬉しく思いました
- 社外の方（上司の親しい方）がわたしの対応を褒めていたと伝えていただいたこと。上司からは特に褒められたことはありません
- 社外向けプレゼンテーション資料を作成し、上司がプレゼンをしたその日に、受け入れ側の社外団体のご担当者から『「このプレゼンがうまくいったのは秘書が尽力してくれたから」とべた褒めでしたよ。』と連絡があったのが嬉しかったです。直接褒められるより、第三者から聞き及んだことが嬉しかったです

- 何気なく良かれと思ってやったことに対して感謝されたとき。自分としては意気込んで気遣ったわけではないことに気づいていただけた嬉しさと、感覚の近さを感じられて安心感がありました
- 「教えてくれて助かった」などと感謝されたこと。他社の方に秘書を褒められたと喜んでくれたこと
- 社長退任パーティーで花束贈呈の際にハグされ「有難う」と言われた時、秘書をやっていてよかったと感じた。とても厳しく、よく注意をされていたので、あまり信頼されていないのではと悩んだこともあったので、とても嬉しい思い出になりました
- 一緒に仕事を続けていきたいと言われた時
- 自分の部署内や、他部署の方へのかかわりを見て、日頃よりコミュニケーションについてほめて頂ける事はとてもうれしく感じます
- 先回りして上司の希望を叶えたときに、喜ばれたこと
- 仕事が早いね！と言って貰えること
- 「1を言えば10をやってくれるので、本当に助かります」「〇〇さんがいなかったら仕事が進みません」「〇〇さんはスーパー秘書ですね」といったお褒めの言葉を頂きました。とても嬉しく、また次に頑張ろうと思えます
- 接待用に選んだ店がお客様から大好評だったと後日フィードバックをいただいた。手土産の用意を依頼されて「予算以外はお任せします」と言われるようになったこと
- 自分の失敗はもちろんありますが、業務上「え～なんで?!」と言いたくなるような外部要因の失敗ももちろん多々ありますが、それが起こったのは自分のせいでもあるととらえるようにしています。評価面談の中で仕えていた上司、および組織上の上司から「本当に言い訳をしたり、人のせいにしないですよ。自分事ととらえてしっかりやってくれている」と言ってもらえたときにはとても嬉しく思いました
- 業務ではない気配りレベルの事に気づいていただけ、とても助かったと言っていただけのこと

- 褒められたとは違いますが、以前の上司は退任後もOBとの会合と一緒に参加させてもらい、楽しい時間を共有していました
- お客様と面談される時には付箋に他愛もないメモを付けてお渡ししているのですが、「あれがすごく役に立って助かるんだよ」と社外の方や他部署の方に話して下さっていて、私の知らないところで褒めてくださったのは嬉しかったです
- 私の知らないところで社外の方や他部署の方に私のことを褒めてくださっていたこと
- 取引先の方からお褒めの言葉をいただいたとお聞きした
- 予約困難なレストランで、急遽当日行けなくなり「信頼のおける秘書が行くから」と上司自ら電話を入れ、ただでご馳走になったこと
- 「おかげで仕事に集中できるようになった。簡単な仕事ではないがよく食らいついて頑張っている」と言われたこと
- 「君に任せておけば安心」と信頼してくれたこと
- 「これまで10人程秘書がいたけど、ダントツで優秀だ」と言っていたこと。着任して3ヶ月、役に立ってるのか自信がなかったところで褒めていただき、嬉しいのはもちろん、安心して涙が出ました
- 別の方から、「〇〇さんは頼んだことを早くやってくれますね、と言っていましたよ」と教えてくださいました
- 特別誉められなくても、「お疲れさま」「ありがとう」と言われるだけで嬉しいという単純さ...
- 口が堅いと言う事を他の役員に対しても保証してくれる
- 出張の手配時に、スムーズな移動、くつろげるホテルの手配に気を遣っておりますが、出張から戻られた時に「あなたの出張の手配はハズレがないから毎回楽しみだよ」と言われると秘書として嬉しく思います
- 提案をした時に面白がって下さる時

- ボスと長くお付き合いのある方からボスに付いていた歴代秘書の中でトップで好印象と評価していただいたこと。そのお話をボスを通して伺ったことがとても嬉しく、活力になっています
- どの成果に対してということはないですが、気難しく、周囲から恐れられている上司が些細な業務にも「ありがとう」と仰ること
- 褒められたわけではありませんが、以前、上司が代表取締役就任時に、「アシスタントとして、わたしの下で働くのではなく、わたしといっしょに働いてほしい」と言われたこと
- 上司が出張された際に予約したホテルが上司の好みだったので、褒めていただいたこと。プレゼン資料や講演資料がとても良く出来ていたと褒めていただいたこと
- 上司よりも社外の方から褒められたことのほうが嬉しいように思います。（記憶に残っています）
- 長期に渡り難航していた、とあるプロジェクトが完了するとき、私自身はプロジェクトメンバーの一員ではありませんでしたが、メンバーがいる中で「〇〇さんがいなかったら、このプロジェクトはできていなかったよ」と、言ってくださったこと
（お世辞や建前だったとしても、上司の秘書という立場からちょっとでもプロジェクトの役に立てたのかな！と嬉しかったエピソードです）
- 「自分では気付かない点に気がついてくれる」と言われたこと。「物事をスパッと言い切るところが良い」と言ってもらえたこと
- 役員は二次評価者であり、一次評価者に「やる気も積極性もあり、丁寧にきちんと仕事をするのでドンドン評価してランクを上げ、もっと活躍してほしい」と伝えたことと聞いたこと
- 根性がある。勤務態度が真面目。と人伝えにいわれたこと
- お客様からの印象が良く好かれやすいと言われること

- 社内外問わず「スケジュールに関してはすべて秘書を通すように」と言ってくれることが信頼してもらえていると感じ、嬉しかった
- ありがとうございますとよく言っています
- 上司の秘書業務で行なったことを上司というよりは、上司の近くにいる人に褒めてもらったこと（出張手配など）
- 海外からのビジターが日本に来日できないことが分かった週末にその対応にあたった際、「休日まで仕事をしてくれたあなたは会社の宝だ」とまでおっしゃって下さり、感激して泣きそうになりました（上司が複数おり、私を常にポジティブに評価してくださる上司からの褒め言葉です。）
- 6年ついていた寡黙な上司が退官する際に「**You were the best secretary in my life!**」というカードを頂き、いろいろと報われた気持ちになりました
- 前向き、明るい、目力、物怖じしないというところを褒められます
- 上司のお身内にご不幸があった際に、お手伝いをしたところ、「とても助かった、ありがとう」と感謝のお言葉を頂戴しました
- お客様へのお手土産への指示が厳しい上司に付いてから一年程経過した頃に、当方が購入したお手土産の内容をお伝えしご確認いただいた際に「〇〇さんの選んだ物でしたら間違い無いですね」と一言仰られ「ありがとうございます」とお伝えしましたが、心の中では嬉しくて泣いちゃいそうでした。そんな上司の何気ない一言が本当に嬉しいです
- クリスマスに「いつもありがとう。あなたがいるおかげで仕事もスムーズにまわります」とメッセージカードを頂いたこと
- 「俺のことを俺よりよく理解してる」と言って頂いたこと
- 外部の人からの印象が良いと言われたこと
- 手土産のチョイスは毎回褒めてもらう

- 私の居ないところで、「良くやってくれている」と褒めてくれていたこと
- ほんの些細な事でも気がついてくれて、ありがとうと声をかけてくれた時
- 喫煙される上司に訪問先付近の喫煙所を調べて感激されたこと。仕事が早いと褒めていただけたこと
- 休日、業務上のトラブルで上司から急な出張手配の電話があり、すぐに対応したら大変喜んで貰えました。その後も何かにつけてその話をされるので、頼りにして下さっていると感じられて嬉しいです
- 先回りして対応できたこと
- 2-3ヶ月かけて準備していた上司の出張が、コロナの影響で数日前に中止になった際に、頑張っていたことを他の人にも話してくれていた
- 直接褒められたことはないかも。でも嬉しそうな態度や表情で役に立てたかな？と感じ、それが嬉しいです
- 自分の行った気配りを褒めていただけたこと
- 臨機応変な対応に感謝している、と言われた時
- 名前がなかなか出てこないお客様名と社名を、即座に答えたら、「さすが」と言われた
- 情報の入手やフォローにたいして評価されたとき
- 「あなただから自分のスケジュール管理を任せらるよ」と言ってもらえた時
- 「会食や手土産などいつも失敗がない」と言っていたこと、「部下たちに対して『これしかできなくて当たり前、何も求めてはいけない』と思っていたけれど、考えが変わった、もっと教育しなきゃいけないと思うようになった」と言っていたこと、以前の職場では「今までの秘書さんで1番信頼できた」と言っていたこと
- 「〇〇さんのおかげで、ストレスなく、働くことができている。ありがとう」と言われたこと

- 自然体なところが良いと言われた時
- 常に感謝して頂いています
- コミュニケーションは取れていましたが、「ありがとう」以外の表現を知らない上司でした。その上司が異動となり、後任への引継書を見てしまった私。定例書式外の最初の項目に「このポジションにおいては〇〇秘書を頼りにして仕事を進めることが肝となる」と、私の名前を見た時には胸が熱くなりました
- 私がない場で上司が褒めていたことを他の方から聞いた時はうれしかったです
- 「いつも明るくいてくれることがありがたい」といわれたこと



第1回秘書アンケート調査結果

2022年8月1日発行

発行

Hisholio編集部（青山花壇株式会社）

お問い合わせ先

info@hisholio.com

当調査結果の無断転載、無断転用はご遠慮くださいませ。